

# 3.7 「シネマ・ワーカーズ」 映画鑑賞と懇談の集いin深谷

街なかで  
賑わいづくりを！  
「映画文化」の発信と

深谷の実績から学び、労協・高齢協による「シネマ・ワーカーズ」「コミュニティ・シネマ」の可能性を語りあう

開催日時：2006年3月7日（火）13時受付～18時終了  
（終了後交流会予定）

会場：「深谷シネマ」  
深谷支仲町 2 - 25  
電話 048-551 - 4592  
（定員 50 名）

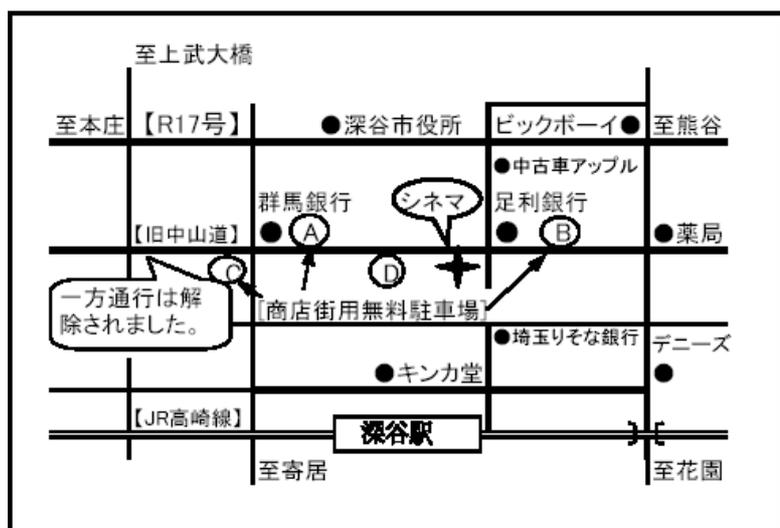
参加費：1人 3,000円（資料代・鑑賞料込み）

申し込み：労協連事務局まで

（詳細な日程、宿泊等については、後日、お知らせします）



《深谷シネマ周辺地図》



関越自動車道「花園インター」より20分

（A、B、Cの駐車場をご利用ください）

JR高崎線「深谷駅」より徒歩約5分



「深谷シネマ<チネ・フリーチェ>」深谷市の「空き店舗活用」の一つとして、以前銀行だった建物を改装して出来た50席の劇場。チネ・フェリーチェにはイタリア語で「幸せな映画」という意味があります。

詳しくは「深谷シネマ」ホームページ  
<http://www.fukayacinema.com/>



（深谷からひらかれた「シネマ・ワーカーズ」という新しい生き方）

1993年3月18日、埼玉県深谷市で、労働者協同組合「シネマ・ワーカーズ」が設立されました。

その方針にもとづいて2000年4月14日には、NPO法人「市民シアター・エフ」が設立され、「映画文化の発信とまちづくり」を活動理念として、上映活動をすすめてきました。

2002年7月27日には、深谷TMO（まちづくり機構）による「空き店舗活用」のミニシアター「深谷シネマ」（商店街の元銀行を改装した50席の街の映画館）がオープン。今日まで、約3年8ヶ月が経過し、海外の新作や日本映画の名作を中心に、上映

日数1080日・上映作品155作品・のべ来場者数約7万5000人・ゲスト監督13人となり、市民の憩いの場として定着しつつあります。

専従職員2名・アルバイト3名とボランティアで運営し、コミュニティ・ビジネスとしても貴重な実績が作りだされました。埼玉県や経済産業省からも注目され、マスコミ、市民の映画作りメンバーや、行政・商店街から、多くの方々が見学に来られています。

### （「コミュニティ・シネマ」「シネマ・ワーカーズ」を労協・高齢協の活動に）

深谷の事例は、街なかで「映画文化」の発信と賑わいづくりを進めるNPOと、その中心となって仕事と経営を担う「シネマ・ワーカーズ」の、複合的な協同のすばらしい事例であり、労協・高齢協の新しい活動分野を示すものといえます。

いま、市民が自分たちのミニシアターをつくり、地域映画祭など、映画鑑賞の機会を豊かにする、「コミュニティ・シネマ」の活動が各地で取り組まれています。「巨大スーパー・シネコン」の流れの中で、「地域の商店街・ミニシアター」のもう一つの流れが、コミュニティの活性化にとって大きな意味を持っていること、人々が地域での上映を願っていることが、認められています。

上映運動の中心的な組織者・担い手（ワーカー）が養成され、全国的に上映ネットワークができれば、興業組合や配給会社とも連携し、新作も含めてフィルムを借り入れ、どんな地域でも上映が可能になります。

そのことが、ひいては、市民の力でよい映画を制作し、日本映画を再生する一大転機となる可能性にさえ、つながります。

とくに労協・高齢協としては、将来的には常設館を展望しながら、さしあたり、地域福祉事業所や公共施設、学童保育、商店街活性化などでの、文化・交流イベントのゆたかなメニューとして、高齢協の楽しい活動の一環として、高齢者や団塊世代の活躍と世代間交流の場をつくりだし、若者たち・中高年転職組み新しい仕事おこし分野になっていくものと思われまふ。

つきましては、「深谷シネマ」を訪れ、その活動から学び、映画も鑑賞して、シネマ・ワーカーズの取り組みの全国的な普及の可能性について語り合いたいと思いますので、全国の労協・高齢協からふるってご参加いただくようお願い致します。



### 参加申込書

氏名	所属団体名	電話	交流会参加	宿泊の必要
			有・無	有・無
			有・無	有・無

【お問い合わせ・お申し込み】日本労働者協同組合連合会 山田

TEL 03-5978 2190 FAX 03-5978-2192